

# 福島第一原子力発電所 A排水路に設置している簡易放射線検知器（P S Fモニタ）の高高警報発生について

< 参 考 資 料 >  
2 0 2 1 年 2 月 4 日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

## 【概要】

- 本日（2月4日）、午前4時6分、A排水路に設置している簡易放射線検知器（P S Fモニタ）の高高警報が発生しました。午前4時45分に当社社員が現場に出向するとともに、午前4時56分に排水路に設置してあるゲートを閉止しました。
- その後、当社社員による現場確認の結果、A排水路周辺の側溝からの流入は見当たらないことを確認しています。
- また、予防措置として以下3点を実施済みです。
  1. Kエリアの排水弁を閉
  2. 既設多核種処理設備（B）を運転から循環待機へ
  3. サブドレン浄化運転を停止
- 現在、A排水路内の水（P S Fモニタ周辺）および物揚場港湾内の海水について、サンプリングを実施中です。
- なお、警報発生前後を通じて、海水放射線モニタの値に有意な変動は見られなかったことを確認しております。

## 【時系列】

- ・午前4時6分 A排水路「濃度高高」警報発生（警報設定値：3,000Bq/L）
- ・午前4時36分 A排水路モニタ監視システムネットワークエラー発生（指示値更新停止）
- ・午前4時45分 当社社員現場出向
- ・午前4時56分 A排水路ゲート「閉」
- ・午前5時3分 サブドレン浄化設備の運転を停止
- ・午前5時4分 Kタンクエリアの外堰の止水弁閉
- ・午前5時5分 運転していた既設多核種除去設備（B）を循環待機
- ・午前5時50分 周辺からA排水路へ水の流れ込みがないことを確認

# <参考> 構内排水路位置図

